

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 5名回答、回答率 100%

保護者様： 20名回答、回答率 66%

職員の意見

○環境・体制整備

職員数は適切になるよう、日々調整を行っている。また、訓練室内の段差をなくす等、バリアフリー化に配慮している。

○業務改善

業務改善の為のPDCAサイクルに関して、教室内ミーティング時におこなっている。保護者向け評価表、外部評価に関しては、今後行っていく。

○適切な支援の提供

今後は活動プログラム立案の段階からチームで行うようにする。当日の個別課題や子どもの様子については、支援開始前に毎回打合せをし、共有している。支援終了後の打ち合わせの時間も設けたい。

○関係機関や保護者との連携

障がいのない子どもとの活動に関して、保護者からの要望がある際に学校休業日等の活動を利用して実施を検討する。また、地域自立支援協議会については、今後積極的に参加したい。

○保護者への説明責任等

今後は保護者同士の連携を支援するよう努め、保護者会を定期的を開催する。子どもの状況に関して、サービス提供記録(授業報告)や送迎時、電話等を利用して保護者と共通理解を持つよう努めている。また、子どもや保護者の要望、苦情については即時、職員間で共有し、翌日の教室内ミーティングで話をする等、迅速に対応するよう努めている。

○非常時等の対応

月に1度、地震や火災、水害等、様々なケースを想定し、避難訓練を行っていく。児童のアレルギー等についても職員全体に周知徹底している。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

スペースは確保されているように思う

○適切な支援の提供

放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもとの活動は特に望んでいない

○保護者への説明等

送迎時や授業報告で、日頃から支援の内容や課題について話をしてくれる

○非常時等の対応

緊急時に避難する場所までのマップ等がほしい

○満足度

事業所での友達や先生と会えるのが楽しみだと話している



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・子どもと保護者の課題やニーズを踏まえた上で、放課後等デイサービス計画が作成されている。
- ・日頃から送迎時やサービス提供記録(授業報告)、電話等を利用して子どもの状況について保護者と意思疎通を図り、共通理解を深めている。

○改善点

- ①避難訓練等、非常時の対応に関して教室-保護者間で差異がある
- ②活動内容が伝わっていない場合がある為、送迎時やサービス提供記録を用いて内容を伝えていく
- ③保護者会を開催し、保護者同士の連携が取れるよう支援を行う



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ①避難訓練実施後のサービス提供記録への明記、送迎時に保護者へ伝える
- ②サービス提供記録の様式変更
- ③年に1度は保護者会を開催する

○1年間で取り組む具体策

- ①避難訓練を実施した際にはサービス提供記録に明記することはもちろん、送迎時にも保護者に実施した旨や子どもの様子をお伝えをする
- ②サービス提供記録の様式変更を行い、活動内容がより伝わるようにする
- ③年に1度、長期休み明け等に保護者会を開催する